

令和元年度

第 1 回

千歳市総合教育会議

外国語教育の充実について

～添付資料～

- 資料 1 小学校外国語教育の早期化・教科化支援 実施スケジュール（イメージ）
- 資料 2 外国語活動・外国語科において育成を目指す資質・能力の整理
- 資料 3 小学校外国語活動便り（巡回指導教員作成）
- 資料 4 第 1，2 学年外国語活動年間指導計画・指導資料
- 資料 5 青葉中校区小中連携・一貫教育研修会 開催要項
- 資料 6 「空港チャレンジ～外国人とのコミュニケーションに挑戦しよう」結果概要報告
- 資料 7 「平成 30 年度中学生『English トライアル』結果概要報告」

千歳市教育委員会

外国語教育の充実について

平成29年3月に告示された小学校の新学習指導要領において、中学年（第3，4学年）に外国語活動、高学年（第5，6学年）に外国語科が導入されることとなりました。

平成30，31年の学習指導要領移行期を経て、令和2年度から全面实施されます。

移行期間中は中学年において年間15単位時間、高学年において年間50単位時間の外国語活動・外国語科が実施されており、次年度からは中学年外国語活動が35単位時間、高学年外国語科が70単位時間実施されることとなります。

これらの動きと関連した本市の外国教育の充実に向けた取組の概要等について以下にまとめます。

1 小学校外国語活動及び外国語科導入の趣旨

資料1「小学校外国語教育の早期化・教科化支援 実施スケジュール（イメージ）」参照

- **グローバル化**が急速に進展する中で、外国語によるコミュニケーション能力は、これまでのように一部の業種や職種だけでなく、**生涯にわたる様々な場面で必要**とされることが想定され、その能力の向上が課題となっています。
- 平成20年改訂の学習指導要領は、小・中・高等学校で一貫した外国語教育を実施することにより、外国語を通じて、言語や文化に対する理解を深め、積極的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度や、情報や考えなどを的確に理解したり適切に伝えたりする力を身に付けさせることを目標として掲げ、「聞くこと」、「話すこと」、「読むこと」、「書くこと」などを総合的に育成することをねらいとして改訂され、様々な取組を通じて指導の充実が図られてきました。
- 小学校では、**平成23年度から高学年において外国語活動が導入**され、その充実により、児童の高い学習意欲、中学生の外国語教育に対する積極性の向上といった成果が認められています。

一方で、

- ・ 音声中心で学んだことが、中学校の段階で音声から文字への学習に円滑に接続されないこと
- ・ 日本語と英語の音声の違いや英語の発音と綴りの関係、文構造の学習において課題があること
- ・ 高学年は、児童の抽象的な思考力が高まる段階であり、より体系的な学習が求められること

などが課題として指摘されています。

- こうした成果と課題を踏まえ、今回の学習指導要領の改訂では、**小学校中学年から外国語活動を導入**し、「聞くこと」、「話すこと」を中心とした活動を通じて外国語に慣れ親しみ外国語学習への動機付けを高めた上で、**高学年から発達の段階に応じて段階的に文字を「読むこと」、「書くこと」を加えて総合的・系統的に扱う教科学習を行う**とともに、中学校への接続を図ることを重視することとしています。

2 外国語活動及び外国語科の目標

資料2「外国語活動・外国語科において育成を目指す資質・能力の整理」参照

（1）外国語活動（第3，4学年）の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、話すことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る素地となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語を通して、言語や文化について体験的に理解を深め、日本語と外国語との音声の違い等に気付くとともに、外国語の音声や基本的な表現に慣れ親しむようにする。(知識及び技能)

身近で簡単な事柄について、外国語で聞いたり話したりして自分の考えや気持ちなどを伝え合う力の素地を養う。(思考力、判断力、表現力等)

外国語を通して、言語やその背景にある文化に対する理解を深め、相手に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

(2) 外国語科(第5, 6学年)の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、コミュニケーションを図る基礎となる資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

外国語の音声や文字、語彙、表現、文構造、言語の働きなどについて、日本語と外国語との違いに気付き、これらの知識を理解するとともに、読むこと、書くことに慣れ親しみ、聞くこと、読むこと、話すこと、書くことによる実際のコミュニケーションにおいて活用できる基礎的な技能を身に付けるようにする。(知識及び技能)

コミュニケーションを行う目的や場面、状況などに応じて、身近で簡単な事柄について、聞いたり話したりするとともに、音声で十分に慣れ親しんだ外国語の語彙や基本的な表現を推測しながら読んだり、語順を意識しながら書いたりして、自分の考えや気持ちなどを伝え合うことができる基礎的な力を養う。(思考力、判断力、表現力等)

外国語の背景にある文化に対する理解を深め、他者に配慮しながら、主体的に外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度を養う。(学びに向かう力、人間性等)

これまでの外国語活動(第5, 6学年)との大きな違いは、「外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方」を働かせることが目標に入ってきたことです。これは、「外国語で表現し伝え合うため、外国語やその背景にある文化を、社会や世界、他者との関わりに着目して捉え、コミュニケーションを行う目的・場面・状況に応じて、情報を整理しながら考えなどを形成し、再構築すること」が求められています。

また、外国語科が外国語活動と大きく異なる点は、外国語による「聞くこと」、「話すこと」に、「読むこと」、「書くこと」が加わっていることです。しかし、今回高学年の外国語科に導入された「読むこと」、「書くこと」は、慣れ親しませる段階であることに留意する必要があり、文法的な説明等を優先させることはありません。次に示す中学校外国語科の目標も踏まえ、児童生徒の発達段階に応じてコミュニケーション能力を緩やかに確実に育んでいくことが重要です。

中学校外国語科の目標

外国語によるコミュニケーションにおける見方・考え方を働かせ、外国語による聞くこと、読むこと、話すこと、書くことの言語活動を通して、簡単な情報や考えなどを理解したり表現したり伝え合ったりするコミュニケーションを図る資質・能力を次のとおり育成することを目指す。

3 本市における外国語教育の充実に向けた取組について

平成26年策定の「千歳市学校教育基本計画」の中に「外国語教育の充実」及び「国際理解教育の充実」の施策項目があり、「国際社会に生きる人材を育成する教育の推進」を通して「国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる」ことを目指しています。

千歳市学校教育基本計画における外国語教育の位置づけ

基本目標	基本方向	施策項目	主な取組
2 国際都市千歳にふさわしいグローバルな感覚を育てる	7 国際社会に生きる人材を育成する教育の推進	外国語教育の充実	教員の指導力・英語力の向上
			小学校外国語活動の充実
			コミュニケーション能力の育成
		国際理解教育の充実	イングリッシュキャンプの実施
			外国の文化に触れ合う機会の充実 姉妹都市や姉妹校との交流事業の推進

(1) 教員の指導力・英語力の向上

小学校外国語活動及び外国語科における教員の指導力・英語力向上に向けた研修を実施したり、ALT（外国語指導助手）と協力した教材を作成したりするなどの取組を行っています。

小学校外国語活動巡回指導教員研修事業（北海道教育委員会指定）

平成29、30年度の2か年にわたり、小学校教員の外国語活動等の指導力と英語力の向上を図ることを目的に、巡回指導教員（千歳第二小学校教諭）が市内の全小学校を巡回し、学級担任とのチーム・ティーチングや模範授業、小学校外国語活動に関する教員研修の企画及び教員への指導助言等を行う事業を実施しました。



< 外国語活動の授業の様子 >

成果としては、授業の進め方（流れ、活動の時間配分）やアクティビティ（活動、ゲーム）、クラスルームイングリッシュ（指示の出し方、ほめ方）、教材作り、ICT機器の活用など、学級担任の指導力や英語力の向上が図られ、T1として指導する意味の理解が各校で進んだことが挙げられます。

資料3「小学校外国語活動便り」（巡回指導教員作成）参照



< 手作り教材 >

(2) 小学校外国語活動の充実

千歳市独自の小学校第1、2学年外国語活動の指導計画及び補助教材の作成

資料4「第1、2学年外国語活動年間指導計画・指導資料」参照

千歳市における外国語教育の充実を図るために、小学校第1、2学年においても平成29年4月から外国語活動を実施しています。そのために平成27年度から市内の小学校教員による「外国語活動推進委員会」を組織し、年間指導計画や補助教材の作成等を行ってきたところです。

平成30年度には、今回の学習指導要領の改訂に伴い、小学校3年生以上の外国語活動及び外国語科との接続を考慮して、年間指導計画や補助教材、デジタル教材の見直しを行いました。

学習指導要領改訂に伴う小学校外国語教育への対応

令和2年度の新学習指導要領の全面実施及び平成30、令和元年の移行措置への対

応を検討するため、市内小学校教員による「外国語教育推進協議会」を組織し、英語教育の現状の交流と課題の明確化や指導時数増への対応等についての検討を行っています。

小中連携・一貫教育の取組

小中連携・一貫教育の推進に関わり、中学校教員による小学校への出前授業や小中学校の外国語（英語）系統表の検討などの取組を行っています。

[資料5「青葉中校区小中連携・一貫教育研修会 開催要項」参照](#)

（３）コミュニケーション能力の育成

総合的な学習の時間等において、千歳市アクティブスクール事業やA L Tを活用した外国人とのコミュニケーションを体験する取組を行っています。

小学校「英語 de トライ」（北海道教育委員会事業）
平成31年2月7日、向陽台小学校の第5，6学年児童が新千歳空港を利用する外国人との交流を行いました。日常の外国語活動等の学習で身に付けた英語を用いて英会話に挑戦することで、英会話への興味・関心を高めることができました。



<向陽台小 空港チャレンジ>

[資料6「『空港チャレンジ～外国人とのコミュニケーションに挑戦しよう』結果概要報告」参照](#)

中学生「English トライアル」（北海道教育委員会事業）
平成29，30年度の2か年にわたり、富丘中学校において中学生の英会話への興味・関心を高めるため、生徒が日常生活で使用する英語を用いた英会話に挑戦する機会を設定する「English トライアル」を実施しました。冬季休業期間に教育課程外の実施活動として希望者を募って実施しています。生徒からは「楽しく英語を学ぶことができた」、「もっとコミュニケーション力を上げたいからまた参加したい」などの感想が聞かれました。市内の他の中学校でも「A L Tを活用した中学生外国語サポート事業」を実施し、同じような実践を行っています。

[資料7「平成30年度中学生『English トライアル』結果概要報告」参照](#)

（４）その他

国際理解教育の充実を図るため、子どもたちが生きた英語でのコミュニケーションを体験できるイングリッシュキャンプの実施や、J I C A等の人材を活用した外国の文化に触れ合う機会の充実、サンドレイク小学校やミアーズ中学校との相互訪問交流事業などにも取り組んでいます。



<サンドレイク小との交流>

小学校外国語教育の早期化・教科化支援 実施スケジュール(イメージ)

平成29年3月22日

資料 1

26年度	27年度	28年度	29年度	30年度	31年度	32年度以降
「英語教育の在り方に関する有識者会議(26年9月:報告)」	中央教育審議会における検討	まとめ 審議 答申	小学校学習指導要領 改訂	次期学習指導要領を段階的に 先行実施 ・移行措置		次期学習指導要領 全面実施

1. 新教材の整備・効果的な指導方法の普及

実施スケジュール

<H29>

- 2月:(連絡協議会)年間指導計画例素案(4学年分)、児童冊子・指導書(各学年1ユニットのサンプル)を配布
- 6月頃:(指導主事会)年間指導計画例(4学年分)、学習指導要領(5・6年)、児童冊子・指導書(5・6年編集原稿)、研修用資料を配布
- 9月頃:児童冊子・指導書(5・6年印刷原稿)のデータ共有
- 11月頃:(教育課程説明会)児童冊子・指導書(5・6年印刷原稿)、デジタル教材(5・6年)の内容説明資料を配布、音声(5・6年)のデータ共有
- 12月頃:5・6年用完成版教材を送付、児童冊子・指導書(3・4年印刷原稿)のデータ共有

<H30>

- 1月頃:(臨時指導主事会)学習指導要領(3・4年)、児童冊子・指導書(3・4年印刷原稿)、デジタル教材(3・4年)の説明資料を配布、音声(3・4年)のデータ共有
- 3月頃:3・4年用完成版教材を送付

英語(外国語)教育強化地域拠点事業

改訂の趣旨を先取した先進的な取組を全国に普及

2. 教員の指導力・専門性向上(推進リーダー・中核教員/全小学校教員)

外部専門機関と連携した英語指導力向上事業

- 「英語教育推進リーダー」を毎年約200人ずつ養成(平成30年度までに約1000人養成)
- 「英語教育推進リーダー」による全中核教員を対象とした研修実施を促進
- 中核教員による全小学校教員を対象とした校内研修の完了を目指す

現職教員の研修を改善

活用

「これからの学校教育を担う教員の資質能力の向上について」

答申

英語コア・カリキュラムの開発・策定

制度改正等

初任研修や中堅研修その他の年次研修、免許更新講習、大学の養成課程などで活用可能なコンテンツの開発

教育委員会・大学等において研修コンテンツの活用を促進

開発

放送大学が開講する小学校教員等の外国語指導力向上のための講座「小学校外国語教育教授基礎論」を普及・活用促進

各大学による教職課程の改善・充実の取組に活用

改善後の免許取得者を順次採用・配置

大学による準備

新課程の認定

新課程の実施

小学校外国語教育の教科化に対応した講習事業(「免許法認定講習」+教科化等対応講習の開発・実施)
本事業において平成32年度までに中学校英語免許状を取得する計画の教員数は約1,100人

小学校教員の中学英語免許併有を促進(併有状況を考慮した採用選考の促進)

3. 指導者の確保・充実

専門性を持った教員配置のための加配定数の充実(小学校英語に活用可能)

指導方法工夫改善定数

専科指導の充実

専科指導やTTなどで学級担任をサポート

ALT等外部人材の活用促進(JET-ALT、非常勤講師等活用への支援を含む)

ALT等外部人材2万人以上の配置を目指す「日本再興戦略2016(H28.6)」 「対日直接投資促進のための政策パッケージ(H28.5)」

うち、補習等のための指導員等派遣事業(小学校英語)

400人

2,000人(目標)

※特別免許状 英語95件/215件

※特別非常勤講師 英語532件/4,559件(小学校)

小学校外国語教育の早期化・教科化等に向けた条件整備を一体的に推進

	知識・技能	思考力・判断力・表現力等	学びに向かう力、人間性等
外国語活動 小学校	- 外国語への慣れ親しみ - 外国語を用いてコミュニケーションを図る楽しさを体験すること 外国語を聞いたり、話したりすること	簡単な語句や表現を使って、自分のことや身の回りのことについて、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション力	- 外国語を用いた体験的なコミュニケーション活動を通じて言語の大切さや、文化の違いに気付く - 外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 など
外国語 小学校	- 言葉の仕組みへの気付き (音、単語、語順など) - 聞くことに関する知識・技能 話すことに関する知識・技能 外国語を読んだり、書いたりすること	馴染みのある定型表現を使って、自分の好きなものや、一日の生活などについて、友達に質問したり質問に答えたりするコミュニケーション力	- 外国語の学習を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度 - 外国語を用いてコミュニケーションを図ることの楽しさや言語を用いてコミュニケーションを図る大切さを知り、相手意識を持って外国語を用いてコミュニケーションを図ろうとする態度 など
外国語 中学校	- 外国語の音声、語彙・表現、文法の知識 - 言語の働きや役割などの理解 - 外国語の音声、語彙・表現、文法の知識を、「聞くこと」「話すこと」「読むこと」「書くこと」を活用して実際のコミュニケーションで運用する技能 など	- 具体的で身近な話題について、学校、地域、他教科等での学習内容等と関連付けながら、互いの考えや気持ちなどを外国語で適切に伝え合う力 - 聞いたり読んだりしたことを活用して話したり書いたりして発信するコミュニケーション力	- 外国語を通じて、言語やその背景にある文化を尊重しようとする態度 - 他者を尊重し、聞き手・読み手・話し手・書き手に配慮しながら、外国語でコミュニケーションを図ろうとする態度 など

小学校外国語活動便り



平成30年 4月 No.29

千歳市小学校外国語活動

巡回指導教員

千歳第二小 石郷岡 史衣

北海道では、小学校教員の外国語活動等の指導力と英語力の向上を図ることを目的に、平成28年度からこの事業(巡回教員による研修)が行われています。(石狩管内では江別市、石狩市でも今年度から始まります。)千歳市は2年目となり、今年度も私が担当することになりました。どうぞよろしくお願いします。

1、主な業務

授業の補助；5・6年学級担任がT1で行う授業や担任(T1)・ALT(T2)で行うTT授業のお手伝い(アドバイス)をします。(5・6年と重ならない時間の3・4年生も同様です。)

要望があれば「模擬授業」やALTのいないときにT2を行うなど、各校の実態に応じ、指導体制を工夫します。

教員研修：小学校外国語活動に関する教員研修の企画・運営(朝打など短時間でのミニ研修・校内研修等)を各校の外国語活動担当(教務・研究)と相談しながら進めます。(空きがあれば、巡回していない学校にも伺いますので、遠慮なく声をかけてください。)

情報提供(交流)：2020年度の新学習指導要領完全実施に向けた小学校外国語活動・外国語科に関する様々な情報を、この通信を通じてお伝えしたり、各校の取り組みを交流したりします。

2、H30の巡回校

	月	火	水	木	金
前期	緑小	東小 駒里小	北栄小	本務校 (二小)	本務校 (二小)
後期	千歳小	信濃小	高台小	本務校 (二小)	末広小

ALT派遣日に合わせた訪問です。時間割作成の際は、ご配慮をお願いします。

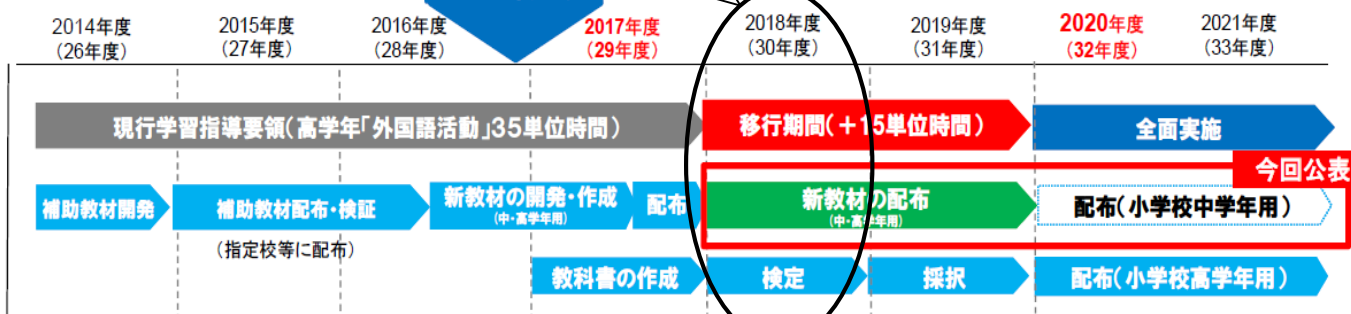
3、移行期間1年目

指導学年・時数・ALTの訪問日数・使用教材・専科加配、働き方改革・・・など様々な面で昨年度と状況が変わっています。どの学年も新教材となり、計画を立てるのは大変ですが、担任(HRT)はT1での指導を始めやすいと思います。一緒にがんばりましょう！

外国語教材作成の背景 (文科省)より抜粋

今年度はここです！

東京オリンピック
パラリンピック



○新学習指導要領に円滑に移行するため、来年度からの2年間は、全ての小学校において、「外国語科」「外国語活動」の内容のうち、小学校高学年や中学校との接続の観点から必要最低限の内容を指導。

○これに加えて、各学校の判断により、より多くの内容を指導することも可能。

○小学校中学年については、平成32年度以降も継続して教材を配布

○小学校高学年については、教科書が無償給与されるまでの2年間、国が新学習指導要領に対応した教材を配布

Let's Try!1・2

小学校外国語活動便り



平成 30 年 6 月 No. 3 3

千歳市小学校外国語活動

巡回指導教員

千歳第二小 石郷岡 史衣

授業に集中させるには

千歳市内ほとんどの小学校で運動会が終わったところでしょうか。小学校の一大イベントが終わっても、5・6年生は宿泊行事が控えており、忙しい毎日は続きます。そんな大きな行事の前後は子どもたちの心もソワソワし、集中できないことも多いものです。そこで今回は、子どもたちが飽きずに集中する授業作りのヒントです。

【集中が続かない場合とは？】



- 繰り返して同じパターンの英語を練習するとき

- 内容が難しすぎる・やさしすぎて注意が散漫になるとき

などです。

そんなときは...

- 学習形態を変えてみましょう。

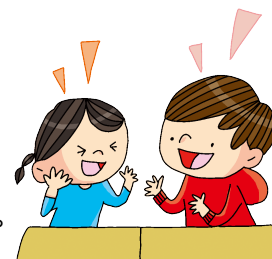
- 苦手な子でも興味をもてる話題（言葉）を取り入れた授業を組み立てましょう。

- 少しやればできる活動、やりたいと思わせる工夫をしましょう。

【学習形態を変える】

- 立つ（Stand up.） 座る（Sit down.）、体を動かす
- 個人で→隣・前後とペアで→相手を変えて→班（グループ）で→全体で
- 列になる、丸くなる

など、アクティビティの種類や形態をスピーディーに変えてみましょう。



【興味をもてる話題】

- 子どもたちが関心をもっている題材を中心に授業を計画し、実際に行う際は、プランに固執せず、子どもたちの反応を確かめながら臨機応変に対応します。（活動のバリエーションを持っていると即対応できます。）

【やりたいと思わせる活動】

- 学級によって盛り上がる活動はさまざまです。指導案例にある活動をそのまま行うのではなく、学級の実態に合わせてアレンジしましょう。大まかな目的が変わらなければ、他の活動に振り替えても大丈夫です。
- 「楽しさ」だけにとらわれず、「もう少しやりたい!」ところでやめ、次の活動（ゲーム）に移るのが「またやりたい!」と思わせるコツです。

どの授業でも行っている学習規律を守らせましょう。（外国語活動の時だけ OK では、指示が通らなくなります。）

使ってみましょう Classroom English！ その4 ＊子どもが発表するとき

発表前：^{落ち着いて} Take it easy. / ^{リラックス} Relax. / ^{心配しないで} Don't worry. / ^{あせらないで} Take your time. / ^{恥ずかしがらないで} Don't be shy. / ^{がんばって} Good luck!
/ ^{がんばって} Do your best!

発表後：^{よくできました} Well done! / ^{すばらしい} Wonderful! / ^{すばらしい} Fantastic! / ^{がんばりましたね} Good effort! / ^{（彼 / 彼女に）} Let's give (him/her) a big hand. ^{大きな拍手をしましょう}

＊読み方は、ALTに聞いてみましょう。教室の後ろの壁などに貼っておくと、いつでも見ることができ、便利です。

第 1 学年外国語活動年間指導計画

資料 4

時数	活動名	活動目標	主な活動例	主な活動例	新出語彙例	Let's Try!との関連
1	あいさつをしよう！	・英語の挨拶の表現に慣れ親しむ。 ・英語で挨拶を交わそうとする。	・英語の挨拶を知る。 ・英語で挨拶をする。	Good morning. Hello. Goodbye.	good, morning, hello, goodbye	Unit1,2(LT1)
1	よろしくね！	・自分の名前を伝える英語の表現に慣れ親しむ。 ・英語で自分の名前を伝え、友達と挨拶をする。	・自分の名前を伝える英語の表現を知る。 ・自分の名前を英語で伝える。	I'm () My name is ().	my, name, is, etc.	Unit1,2(LT1)
1	ごきげんいかが？	・感情や状態を表す英語の表現に慣れ親しむ。 ・英語で感情や状態を伝え合う。	・感情や状態を表す英語の表現を知る。 ・自分の感情や状態を英語で伝える。	How are you? I'm ().	how, are, you, I'm, , hungry, tired, sleepy, happy, etc.	Unit2(LT1)
1	数字であそぼう！	・1 から 10 までの数の英語の表現に慣れ親しむ。 ・尋ねられた数を英語で答えようとする。	・1 から 10 までの英語の表現を知る。 ・身の回りの物の数を数える。 ・尋ねられた物の数を答える。	How many? One.	many, one, two, three, four, five, six, seven, eight, nine, ten.	Unit3(LT1)
1	好きな色は？	・英語の色の表現に慣れ親しむ。 ・自分の好きな色を英語で伝えようとする。	・英語の色の表現を知る。 ・自分の好きな色を英語で伝える。	I like blue.	I, like, blue, red, green, yellow, pink, orange, black, white, etc.	Unit4(LT1)

第 2 学年外国語活動年間指導計画

資料4

時数	活動名	活動目標	主な活動例	主な活動例	新出語彙例	Let's Try!との関連
1	好きな食べものは？	- 英語の食べ物の表現に慣れ親しむ。 - 自分な好きな食べ物を英語で伝えようとする。	- 英語の食べ物の表現を知る。 - 自分の好きな食べ物を英語で伝える。	I like ice cream.	ice, cream, apples, bananas, pizza, hamburgers, etc.	Unit5(LT1)
1	好きな曜日は？	- 英語の曜日の表現に慣れ親しむ。 - 英語で自分の好きな曜日を伝えようとする。	- 曜日の英語の表現を知る。 - 自分の好きな曜日を英語で伝える。	I like Monday.	Monday, Tuesday, Wednesday, Thursday, Friday, Saturday, Sunday, etc.	Unit3(LT2)
1	何が好き？	- 尋ねられた好きなものを答える英語の表現に慣れ親しむ。 - 尋ねられた好きなものを答えようとする。	- 尋ねられた欲しいものを答える英語の表現を知る。 - 尋ねられた欲しいものを答える。	What do you like? I like ~.	what, do, like, strawberries, oranges, cherries, please, here, thank, you, etc.	Unit7(LT2)
1	これなあに？	- ある物が何かを尋ねたり答えたりする英語の表現に慣れ親しむ。 - ある物が何かを尋ねたり答えたりしようとする。	- ある物が何かを尋ねたり答えたりする英語の表現を知る。 - ある物が何かを尋ねたり答えたりする。	What's this? It's a/an (). That's right.	this, a, an, butterfly, spider, cat, dog, bear, right, etc.	Unit8(LT2)
1	英語の絵本を聞こう！	英語の「はらぺこあおむし」を聞いて、感想を言う。	「はらぺこあおむし」を聞く。 - 感想を友だちと伝え合う。			Unit9(LT1)

表情絵カード

資料 4



I'm good.



I'm tired.



I'm hungry.



I'm sleepy.



I'm happy.



I'm sad.



I'm O.K.

青葉中校区小中連携・一貫教育研修会 開催要項

1 目的

青葉中校区（青葉中・日の出小・祝梅小）の教職員が一同に会し、小中連携・一貫教育について学ぶ機会を設けるとともに、相互に教育課程を共有することで、「15歳の姿に責任を持つ」という共通認識に立ち、小中の教職員が相互に理解し合い、協働の意識を高め、今後の教育活動に生かすことを目的とする。

2 期日

平成30年7月26日（木）

3 会場

千歳市立祝梅小学校 体育館・各教室

4 参加対象者

青葉中教職員、日の出小教職員、祝梅小教職員

5 日程

13:30	14:30	14:35	14:55	15:10	15:15	15:25	16:25	16:30
理科乗り入れ授業、児童会・生徒会打合せ 打楽器講習会	開 会 式	講 話	実 践 報 告	説 明	休 憩	分 科 会	ま と め	

6 内容

（1）理科乗り入れ授業、児童会・生徒会打合せ、打楽器講習会（希望者のみ）

- ・理科乗り入れ授業打合せ～小学校6年担任・中学校理科教諭
- ・児童会・生徒会打合せ～小学校児童会担当・中学校生徒会担当
- ・打楽器講習会「大太鼓・小太鼓のチューニングの方法」
○講師 青葉中学校教諭 菊地恵一先生

（2）講話

- ・演題 「9年間を見通した教育課程編成に関わる留意点」（仮称）
- ・講師 石狩教育局義務教育指導班 指導主事 因 雅仁 氏

（3）実践報告

- ・演題 「三校の取組の状況～算数の乗り入れ授業を通して～」
- ・発表者 青葉中学校教諭 松永浩輝先生

（4）説明

- ・青葉中学校区小中一貫教育協議会 事務局 祝梅小学校教頭 波津雅俊

（5）分科会

- ・各教科分科会
- ・9年間を見通した教育課程～9年間を通して身に付けさせたい力の作成～

7 参加にあたっての留意事項

- （1）上靴をご持参ください。
- （2）1階児童玄関よりお入りください。
- （3）水分補給のための飲み物は各自持参ください。

平成 30 年度 英語 de トライ

「空港チャレンジ～外国人とのコミュニケーションに挑戦しよう」結果概要報告

1 本学習「英語 de トライ」のねらい

本校児童が外国語活動等で身に付けた英語を用いた英会話に挑戦することで、本校児童の英会話への興味・関心を高めることをねらいとする。

2 開催日時

平成 31 年 2 月 7 日（木） 9：30～12：00

3 開催場所

新千歳空港（千歳市美々）

4 交通機関

貸し切りバス（千歳市教育委員会「アクティブ・スクール」予算から支出）

5 日程内容

9：30 向陽台小学校 出発
10：00 新千歳空港着（千歳市美々）
10：10 空港内下見、説明等
10：15 英語 de トライ「空港チャレンジ」
11：20 終了・集合
11：30 新千歳空港出発

6 参加生徒

千歳市立向陽台小学校 第 6 学年児童 32 名、第 5 学年児童 23 名 計 55 名

7 内容

児童が新千歳空港で、北海道を訪れている外国人と自己紹介、道案内、日常会話などの英会話を行う。

（事前）

- ・本学習を行うときに生かせる今までの学習の内容を出し合う。
- ・外国人と英会話をするときの自分の目標を持つ。
- ・外国人と英会話をするときに気を付けることについて考える。

（事後）

- ・英会話を終えて、感じたこと、考えたことを振り返り、交流する。

8 指導者及び運営者

(1) 向陽台小学校

校長	今井 正樹	教諭	佐々木 綾香 (第 6 学年担任)
教諭	熊谷 夏子 (第 5 年年担任)	教諭	外崎 哲也 (あおぞら担任)
教諭	奥 山 由紀子 (担任外)		

(2) 千歳市教育委員会

学校指導室長	小松 義幸	学校指導課長	佐藤 貢
学校教育課長	高橋 裕輔	学校教育課主任	伊藤 純
A L T Peterson Travis			

(3) 北海道教育庁石狩教育局

教育支援課長	柴田 亨	義務教育指導班主任査	菅原 巧
義務教育指導班主任指導主事		因 雅仁	

9 教育課程上の扱い

総合的な学習の時間

10 育成を図る資質・能力

(1) 自分で課題を見つけ追及する力

課題解決までの具体的な見通し (課題設定・情報収集・分析・表現) を持ち、事象を比較したり関連付けたりして方法の工夫を図ることができる。

(2) かかわり合う力

自他の人格や個性を認め、互いに高め合いながら課題解決を図ることができる。

(3) 自己を振り返る力

学んだことや考え方を生かし、自分の生き方を考えようとすることができる。

11 関連する能力や技能等

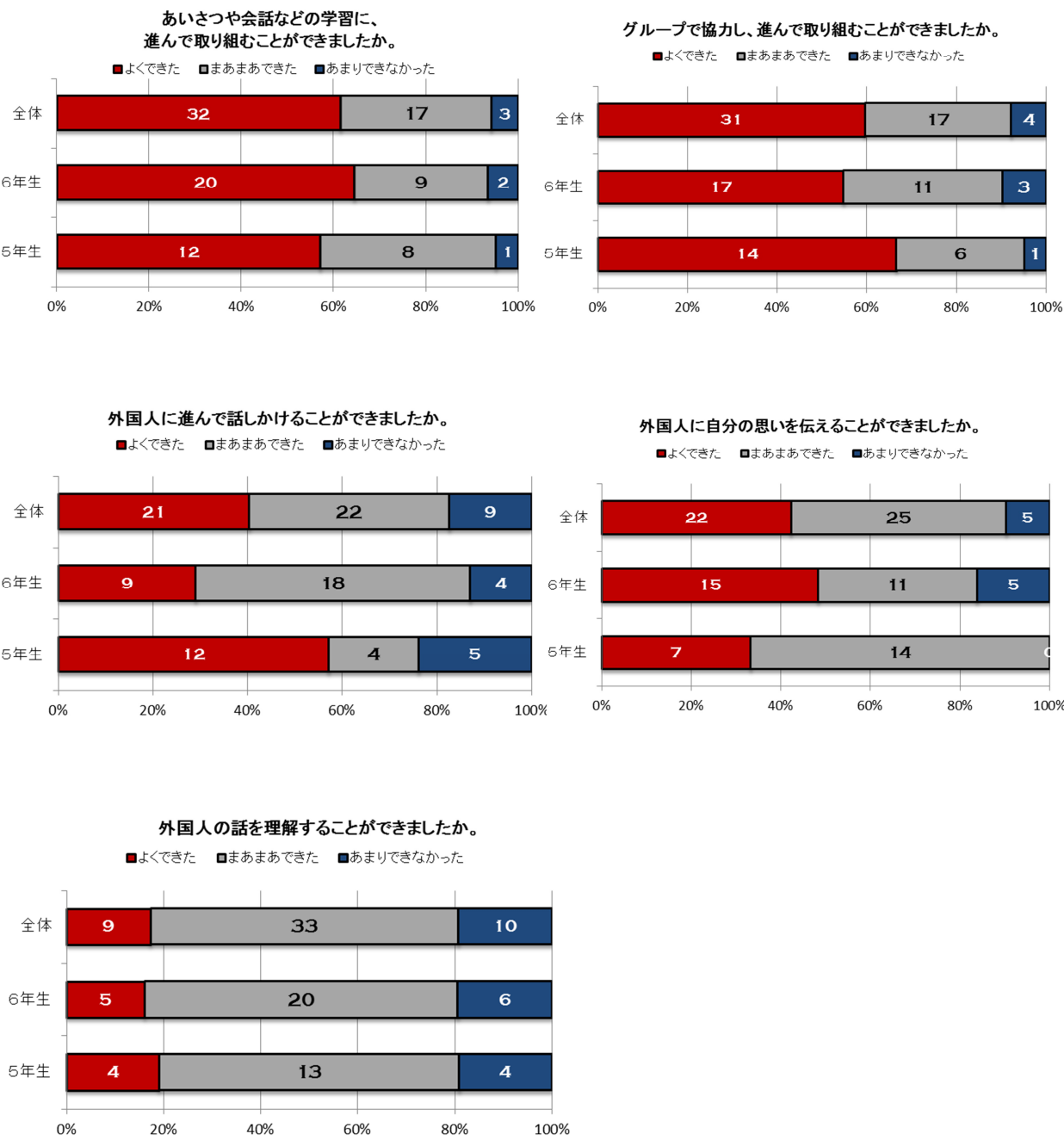
(1) 自分の思いや考えが相手に伝わるように表現する力 (国語)

(2) 日本の文化や外国の文化を大切にすること (道徳)

(3) 諸外国の生活や文化に関心を持ち、進んで体験したり調べたりしようとする態度 (外国語活動)

(4) 自発的、主体的に物事に向き合う力 (特別活動)

12 学習後の振り返りアンケートの結果



あいさつや会話などの学習に、進んで取り組むことができましたか。

No	回答群	5年生	6年生	全体	比率
1	よくできた	12	20	32	62%
2	まあまあできた	8	9	17	33%
3	あまりできなかった	1	2	3	6%
	合計	21	31	52	100%

グループで協力し、進んで取り組むことができましたか。

No	回答群	5年生	6年生	全体	比率
1	よくできた	14	17	31	60%
2	まあまあできた	6	11	17	33%
3	あまりできなかった	1	3	4	8%
	合計	21	31	52	100%

外国人に進んで話しかけることができましたか。

No	回答群	5年生	6年生	全体	比率
1	よくできた	12	9	21	40%
2	まあまあできた	4	18	22	42%
3	あまりできなかった	5	4	9	17%
	合計	21	31	52	100%

外国人に自分の思いを伝えることができましたか。

No	回答群	5年生	6年生	全体	比率
1	よくできた	7	15	22	42%
2	まあまあできた	14	11	25	48%
3	あまりできなかった	0	5	5	10%
	合計	21	31	52	100%

外国人の話を理解することができましたか。

No	回答群	5年生	6年生	全体	比率
1	よくできた	4	5	9	17%
2	まあまあできた	13	20	33	63%
3	あまりできなかった	4	6	10	19%
	合計	21	31	52	100%

13 児童の学習後の記述（抜粋）

…6 年生、 …5 年生

（１）今回の学習で、自分が特にがんばったことや新たに学んだこと

【主にコミュニケーションへの意欲に関する記述】

進んで外国人に話しかけ、理解しようとした。

外国人に話しかけて断られたけど、諦めないで他の人に声をかけると「OK」と言われてよかった。

外国人に千歳のよいところについて、パンフレットを使いながら、英語で紹介するのを頑張った。自己紹介するのを頑張った。

緊張したけど、外国人の言っていることを頑張って受け入れようとした。

相手の英語を理解して話をしたりコミュニケーションを取ったりするのを頑張った。

緊張したけど、外国人に積極的に自分から話しかけられた。

【主に学びの手応えに関する記述】

新しい英語の単語を学んだ。

「英語が上手だね」と言われてうれしかった。

5 年生の時よりも話していることを理解できたり、学んだことを使って話し合ったりすることができた。

6 年生として、きちんと英語をしゃべれてよかった。

積極的に外国人に質問できたり、予想外に外国人が優しくて、簡単に緊張しないでできたからうれしかった。

チャレンジノートをできるだけ見ないで外国人に話せた。

外国の人とちゃんと会話ができるかと思っていましたが、ちゃんと言葉が通じてよかった。

【主に相手・他者への配慮に関する内容】

新たに学んだことは、相手に話すときは、ちゃんと言いやすい時に話した方が自分にとっても相手にとっても話しやすい。

相手が聞き取りやすいように、大きい声でゆっくり話せた。

外国人の話をうなずいたりしながら聞いた。

あまり大きい声で話せなく、2 回聞き返された。

【主に「聞くこと」に関する記述】

相手の話している英語を理解するのを頑張った。

【主に今後の学習への動機づけに関する記述】

外国人と会話ができ、楽しかった。

英語を覚えると、色々な人としゃべれることがわかった。

話を聞いていたら、わからない言葉がたくさんあったから、もっと英語を学習してわかる言葉を増やしていきたい。

6 年生みたいに難しい英語や単語を覚えて、外国人とたくさん会話したい。

(2) 学んだことを生かして、これからチャレンジしてみたいことを書きましょう。

【主にコミュニケーションへの意欲に関する記述】

外国人が困っている感じだったら、話しかけてみる。

海外研修や旅行に行って会話したい。

空港に行って、外国人は意外と優しくしてくれて、自信が持てたので、外国人に話しかけられたら、頑張って応えてみようと思う。

外国の人に道を聞かれたりしたら、自分の知っている限りの英語で答えるようにする。

【主に今後の学習への動機づけに関する記述】

もう少しで、中学校なので今日のことを活かして中学校でチャレンジしていきたい。

困っている外国心がいたら、話して教えるために英語を学びたい。

外国人が言っていた英語を理解できるようにする。

新しく覚えた英語で外国の人と話してみたい。

外国の人と話をするときは、今日聞いた言葉を使ってみたい。

生活面で、少しは必要になると思うから、これからはもっと読んだり会話できたりするようにする。

英語をいっぱい話せるようになりたい。

英語を発音よくうまく話せるようになりたい。

大人になって、英語が話せるように、単語や英語を覚えたい。

来年は、紙を見ずにすらすら言えるようにする。

来年は、自分から話しかけられるようがんばりたい。

【主に相手・他者への配慮に関する内容】

外国人に話しかけられたら、優しく答えられるようにしたい。

外国の人は、知らない子どもたちでも話しかけてくれたりしたので、自分も見習いたい。

【主に相手・他者への配慮に関する内容】

英語でわかりやすく言う。

周りをしっかり見られるようにする。

相手に失礼の無いようにする。

平成 30 年度中学生「English トライアル」結果概要報告

- 1 参加生徒 千歳市立富丘中学校生徒 31 名 昨年度 35 名
(1 年生 6 名、2 年生 22 名、3 年生 3 名)
- 2 内 容
 - ・英会話 (北海道教育委員会作成による日常生活で使用する英会話を中心とした問題)
 - ・今回は買い物、道案内、旅行、家庭生活、学校生活の 5 つの場面設定で行った。
- 3 運 営
 - (1) 千歳市立富丘中学校

校 長	津谷 昌樹	教 頭	赤井 輝人
主幹教諭	漆原 光晴	教 諭	石田 賢一
教 諭	松井 庸恭	教 諭	佐々木 靖
教 諭	中山友加里		
 - (2) 千歳市教育委員会

学校指導室長	小松 義幸	学校指導課長	佐藤 貢
学校教育課長	高橋 裕輔	学校教育課主任	伊藤 純
A L T	Sides Alan Kirk	A L T	Peterson Travis
A L T	Kelvin Wong	A L T	Spiga Andrew Raymond
 - (3) 北海道教育庁石狩教育局

義務教育指導班主査	菅原 巧	義務教育指導班主任指導主事	因 雅仁
-----------	------	---------------	------

 面接官 本市 A L T 4 名及び松井教諭の計 5 名
- 4 当日のタイムスケジュール
 - 8 : 1 0 体育館会場準備開始 (英語科、補助生徒)
 - 8 : 3 0 千歳市教育委員会職員会場到着
 - 8 : 4 5 石狩教育局義務教育指導班会場到着、A L T 会場到着
 - 8 : 5 0 参加生徒集合、受付、スタンプカード配布
 - 9 : 0 0 全体説明・開始指示
 - 10 : 5 0 トライアル終了、アンケート記入
生徒の感想発表、A L T・富丘中学校英語科教諭からの助言
 - 11 : 0 0 解散
- 5 アンケート結果
 - (1) 生徒アンケートから

Q 相手の言うことは理解できましたか。(応答できたかは問いません)		
1 よく分かった。	29 %	昨年度 20 %
2 だいたい分かった。	71 %	昨年度 77 %
3 あまり分からなかった。	0 %	昨年度 3 %

4 全く分からなかった。 0 % 昨年度 0 %

Q 英語の質問に対して、すぐ応答できましたか。

- | | | |
|-----------------------|------|----------|
| 1 すぐ応答できた。 | 26 % | 昨年度 17 % |
| 2 応答できたが少し時間がかかった。 | 68 % | 昨年度 71 % |
| 3 応答できたが面接員が質問を繰り返した。 | 6 % | 昨年度 11 % |
| 4 応答できずに次の質問に進んだ。 | 0 % | 昨年と 0 % |

Q 身近な場所でイングリッシュトライアルがあれば、また参加したいと思いますか。

- | | | |
|----------------|------|----------|
| 1 ぜひ参加したい。 | 35 % | 昨年度 66 % |
| 2 機会があれば参加したい。 | 65 % | 昨年度 34 % |
| 3 あまり参加したくない。 | 0 % | 昨年度 0 % |
| 4 参加したくない。 | 0 % | 昨年度 0 % |

(理由)

- ・楽しく英語を学ぶことができたから。 5名
- ・とても楽しかったから。 8名
- ・英語を使うことができて楽しかった。 2名
- ・また、知らない単語を知ることができるかもしれないから。 2名
- ・もっとコミュニケーション力を上げたいから。 2名
- ・楽しかったし、意味も何となく分かったのでまた参加したい。 2名
- ・楽しかったし、分からなかったら、優しく教えてくれたから。 2名
- ・英会話をもっとできるようになりたいから。
- ・難しいけれど、とても楽しかったから。
- ・難しいけれど、練習してがんばろうと思ったから。
- ・すごく良い経験になったから。
- ・身近な場所でできるから。
- ・今日の活動を通して学べるが多かったから。
- ・来年は受験だから機会があれば参加したい。
- ・部活動の日程(その他の予定)と合えば参加したい。 2名

(2) 面接者アンケートから

Q 生徒は応答することができていましたか。

- | | |
|-----------------------|---------|
| 1 よく応答することができていた。 | 1人 / 5人 |
| 2 応答することができていた。 | 3人 / 5人 |
| 3 あまり応答することができていなかった。 | 1人 / 5人 |
| 4 全く応答することができていなかった。 | 0人 / 5人 |

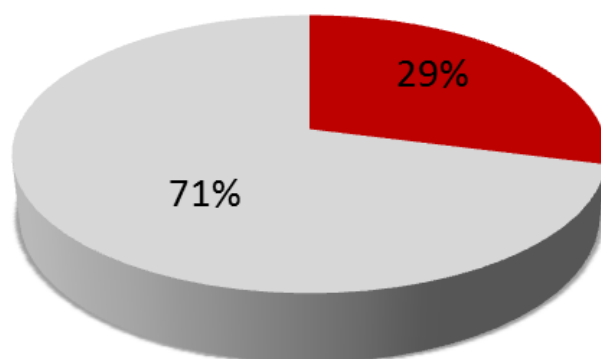
(全体をとおして、気が付いたこと)

- ・ちょうど良いレベルの問題だったと思います。
- ・とにかく単語だけでもいいので答えようとする姿勢が見られた。
- ・生徒がもっとインプットできるようにすればいいと思います。

生徒アンケート結果

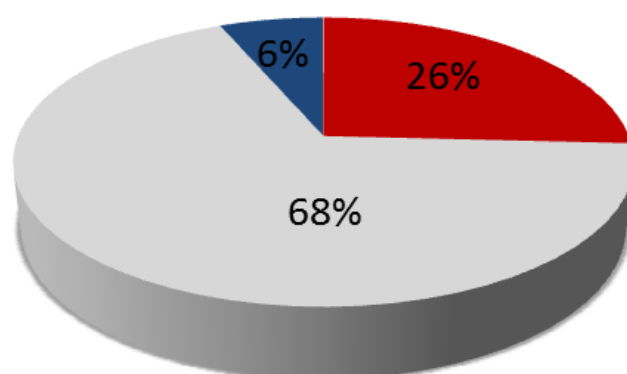
相手の言うことは理解できましたか。(応答できたかは問いません)

- よく分かった ■ だいたい分かった
- あまり分からなかった ■ 全く分からなかった



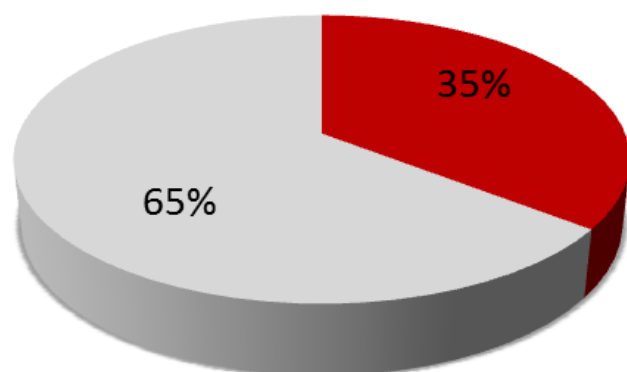
英語の質問に対して、すぐ応答できましたか。

- すぐ応答できた ■ 応答できたが少し時間がかかった
- 応答できたが面接官が質問を繰り返した ■ 応答できずにつぎの質問に進んだ



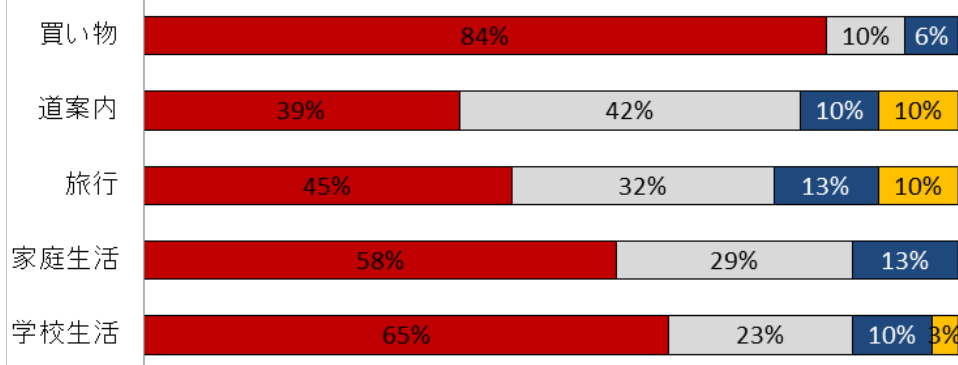
身近な場所でイングリッシュトライアルがあれば、また参加したいと思いますか。

- ぜひ参加したい ■ 機会があれば参加したい
- あまり分からなかった参加したくない ■ 参加したくない



自分が挑戦したものであてはまるものに○を付けてください。

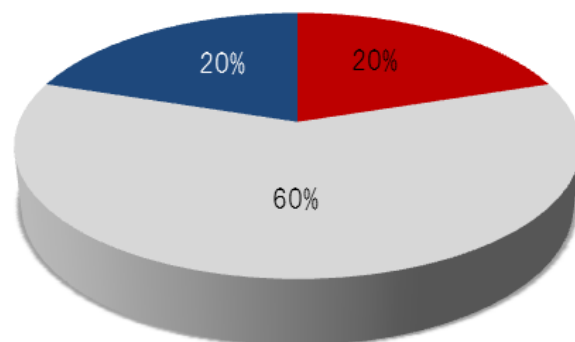
- やさしかった
 ■ どちらかと言えば難しかった
 ■ 行っていない
 □ どちらかと言えばやさしかった
 ■ 難しかった



面接者アンケート結果

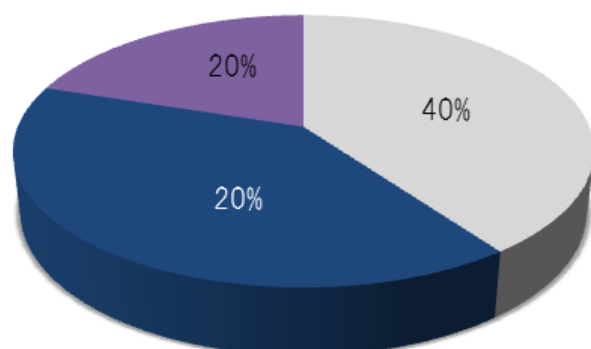
生徒は応答することができていましたか。(面接者5名)

- よく応答することができていた。
 ■ だいたい応答することができていた。
 ■ あまり応答することができていなかった。
 ■ 全く応答することができていなかった。



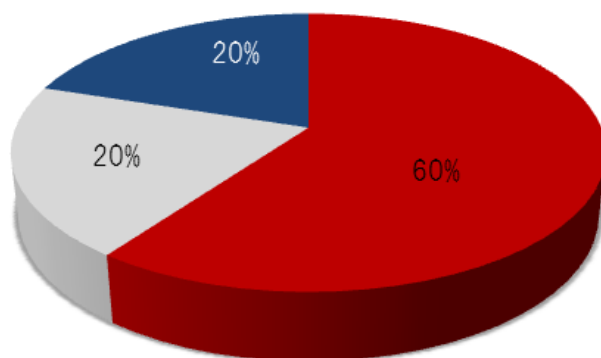
面接をして難易度はどの程度だと感じましたか。
(面接者5名)

- 簡単
 ■ まあ簡単
 ■ ふつう
 ■ やや難しい
 ■ 難しい



判定に時間がかかりましたか。(面接者5名)

■あまり時間がかからなかった。 ■少し時間がかかった。 ■かなり時間がかかった。

**判定で難しさを感じたところがあれば○を付けてください。
(回答数6)**

■即興性 ■コミュニケーション ■態度(地図を見ながらのアイコンタクト) ■ない

